

金峰山～甲武信ヶ岳

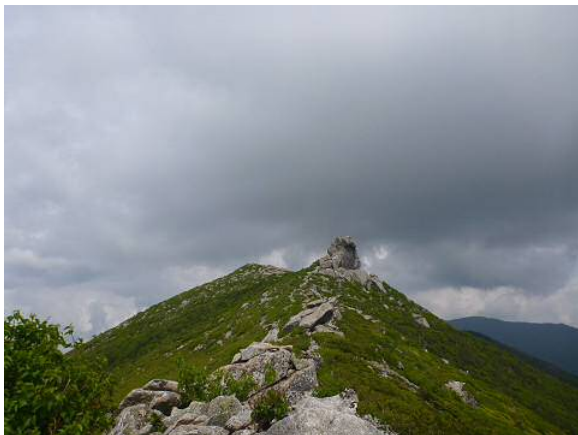
2013年7月26日(金)～27日(金)

メンバー：神谷

7月26日（金）曇り

西沢渓谷近くの道の駅とみに車を置いてタクシーで塩山駅へ移動（6200円）。そこから韭崎駅まで電車に乗り、韭崎駅からバスで益富温泉乗り換えで瑞牆山荘へ（バス2000円）。ここまでの移動4時間で歩き出す前にグッタリした。歩き始めても平日だったこともあり、誰もいない。金峰山山頂まで4パーティーにしか出会わなかった。山頂も独り占めだったが大気が不安定で雷の心配があり先を急ぐ。金峰山～大弛峠まではさらに人気がなくなり単独の男性1人とすれ違っただけだった。鹿が登山道に沢山いてお互いびっくりすること数回。人のいない山歩きを1日堪能できた。

テント場の大弛峠は車で行ける日本最高所の峠でもあり、頑張って歩いて駐車場が現れるのは少し残念だ。テント場には中学生の登山部がワイワイと食事をしており、一番離れた場所にテントを張る。この日のテントは中学生達と私と後から来た単独男性の3パーティーだけだったようだ。食欲がないので（元々2500m越えると食欲がなくなる）ビールと軽くつまみ程度を食べて就寝。と思ったら、夜中に駐車場に入ってくる車の音で殆ど眠れず…。大弛峠は金峰山ビストンの基点となっており、駐車スペースも狭いため夜中に乗り入れてくるようだ。駐車場近くにテントを張った事を後悔した。



少し風が強かった金峰山頂近くの稜線



シャクナゲが沢山残っていた

<タイム> 瑞牆山荘(9:30)－富士見平小屋(10:15)－大日小屋(11:20)－(14:20)金峰山－朝日岳(15:45)－(16:40)大弛峠

7月27日（土）晴れのち曇りのち雷雨

2日目は甲武信小屋まで行くだけなのでゆっくり出発のつもりだったが、中学生達が朝4時から元気に朝食を準備し始めたので目が覚めてしまった。5時には駐車場もワイワイと賑わっていて煩くて眠れないので、仕方がなく準備をして出発することにした。国師ヶ岳までは本道や階段が整備されている。国師ヶ岳～水師までは倒木も多く歩きにくい箇所もあるが、「これぞ秩父」という雰囲気を楽しめる。大弛から水師まで6時間弱、男性2人組の2パーティーにしか会わず本当に静かな森歩きを堪能した。水師から甲武信ヶ岳に近づくとも木平からの甲武信ヶ岳ビストンの登山者と沢山すれ違うようになる。

甲武信ヶ岳山頂はガスで展望なし。甲武信小屋には13時に到着した。予定通りここに1泊して明日、雁坂峠経由で下山するかこのまま今日中に下山するか悩んだが、テント場到着が早かったことや翌日の天候が崩れそうだったので下山することにした。徳ちゃん新道に入ったあたりで雷が鳴り始め近くで落ちた音や地響きもし始めた。大雨にもなり、登山道は川になった。樹林帯を歩いていたこともあり、小屋に戻るより下山した方が早いと判断し様子を見ながら恐々下山した。

久々の単独テント泊はのんびり行こうと思っていたのだが、夏山トレーニングか？という山行になってしまった。でも奥秩父の森歩きを静かに堪能できた。



倒木が多い登山道



乗り越えたり潜ったり



白樺の森

<タイム> 大池峠(6:00)－国師ヶ岳(6:45)－東梓(9:20)－(12:30)甲武信ヶ岳－(13:00)甲武信小屋(13:30)－西沢溪谷－(18:00)道の駅みとみ
以上